



第1870回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次
 第2640地区ガバナー: 北中 登一
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 橋本隆
 幹事: 吉本正美
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 28

2013年2月6日(水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 橋本 隆 会長

唱歌

“君が代” “四つのテスト”

野村 憲司 君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
52名	3名	7名	86.0%
1月23日修正出席率 87.5%			

ヴィジター

田辺はまゆうRC

岡田 政和 様 小倉 孝章 様
 中峰 千世子様 竹田 直人 様
 裏橋 真琴 様 山本 佳弘 様

ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇お世話になります。 田辺はまゆうRC
小倉様・中峰様・浦橋様・岡田様
- ◇お久しぶりです、卓話致しますのでよろしく。
山下
- ◇山下さん、卓話頑張ってください。
藍畑・福留・後藤・橋本・畑地・平野・堀・岩崎・
片井・小山・栗山・楠本・前田・丸山博・中川・
中嶋・小倉・岡本・沖・佐田・坂本・武田・竹村・
谷本・上原・浦地・宇都・早稲田・渡口・山本・
吉田・吉本
- ◇急用で欠席します。山下さん、卓話ががんばって
下さい。 愛須
- ◇2月3日は金婚式です。近々、和倉温泉～東京と、
4～5日旅行に行きます。 泉
- ◇楠本さん、お元気で顔色よくなりましたね。谷中
- ◇東京RCにメーキャップ行ってきました。 野村
- ◇すみません。早退します。宜しく。 森本
- ◇結婚記念日 泉・森本・早稲田・山本
- ◇本人誕生日 谷峯
- ◇奥様誕生日 北村・西谷・玉置
- ◇お花頂きます。 木村

■2月9日(土)・10日(日)、串本ロイヤルホテルにおいて第1組IMが開催されます。出席して下さる会員の皆様、ご苦労様ですが宜しく願いいたします。

■2月10日(日)、青少年交換プログラムの第4回オリエンテーションに参加の平野好史君とユルバ・アルベンクオーネさん、ご苦労様ですがよろしく願いいたします。

■この度ロータリーの創立記念日を期して2月23日に関西国際空港と羽田空港で、我が第2640地区と第2750地区(東京)両地区クラブが、合同連携して一般の方々への複合的なロータリー大広報活動を行うことになりました。これはRIから、両地区共同で広報補助金を得て実施の運びとなったものです。参加希望の方がおられましたら、会長・幹事までご連絡お願いいたします。

日時 2013年2月23日(土)
 10:00 オープニング式典(テープカット)
 10:00~13:00 広報パンフレット配り
 10:00~13:00 お茶席
 場所 関西国際空港 第1ターミナルビル4階
 国際線中央待合「翼の広場」

会長報告

■本日のプログラムは会員卓話として山下郁夫君です。和歌山県教育委員会委員長をされています。後ほど宜しく願い致します。

幹事報告

■例会日時変更

◎高野山RC 3月1日(金)→2月24日(日)
 場所: 橋本商工会館8F
 <IM4組合同例会>

◎那智勝浦RC

2月 7日(木)→ 2月10日(日)10:00~

場所:串本ロイヤルホテル

<第1組IM>

2月21日(木)→ 2月17日(日)8:00~

場所:南の国の雪まつり会場

<「ポリオプラス募金活動」のため>

◎西岡あかねさんから報告いただいております。

◎2月9日、10日でユルバさん連れて地区の留学生と伊勢にオリエンテーションで行ってきます。後日ユルバさんに出席していただき報告していただきます。

本日のプログラム

■メイクアップ

◎2月1日(金)白浜RC

西谷 次彦君

■回覧

◎週報「橋本RC」

◎「万呂シニアパトロール隊の活動記録」

◎青少年交換プログラムによりスウェーデンに留学中の西岡あかねさんの報告書

◎ガバナー事務所より「ガバナー月信2月号」

「『ロータリーの友』地区だより2月号」

「関西国際空港での『ロータリー広報計画』へのお誘い」

「リスボン国際大会日本人親善朝食会についてのご案内」

「2012-2013年度RI会長賞について」

「2012-2013年度『RI意義ある業績賞』についてのご案内」

「『2013年ロータリー世界平和フォーラム広島』の登録取りまとめについて」

◎2013-2014年度版 ロータリー手帳の申込表

2月20日例会を締切とします。今年度と同じサイズで製作しています。申し込みをまとめて注文します。

支払はクラブ経費です。

■連絡

◎R財団より平成24年7月1日から12月31日までの寄付に対して「確定申告用寄付金領収証」が届いています。該当者のトレイに入れてあります。

◎2月9日(土)・10日(日)に串本ロイヤルホテルで開催されます、第1組IMへ出席される方のトレイに、車の乗り合わせのご案内を入れてあります。宜しくお願ひ致します。

◎堀会員にお花頂きました。紅梅です。ありがとうございます。



和歌山の教育を元気に

山下 郁夫 君

本日は、今、世間ではいじめ問題で揺れていますが、和歌山県教育委員会の実態や問題点・仕組み今後の方向性などをお話してロータリアンの皆様にもご協力いただき、和歌山の子供たちの教育を元気に、ひいては和歌山を元気にというテーマでお話をしたいと思います。

ロータリーの役目と貢献

まず、はじめに、ロータリーには1つ目は親睦、2つ目は職業奉仕を通じて社会奉仕を実践していくというプログラムがありますが、RC財団や米山奨学は会員の個人の浄財で運営されていますし、ライラなど青少年育成に大変力をいれています。将来を担う青少年教育に早くから取り組んでいるロータリーの先人達に尊敬の念をもって、まさしく今日本の現状を見た時、GDPは中国に抜かれ世界第3位になり、教育も低下してきています。

年末には安倍内閣ができ「日本を取り戻そう」「経済を取り戻そう」「教育を取り戻そう」というスローガンでスタートしました。

将来をになう子供達の教育こそ国力の源・礎ではないかと考えています。

めざす教育の姿

「未来を拓く、ひたむきな人間力を育む和歌山」
3か年行動計画「動く！和歌山の教育の創造」

委員会報告

新世代委員会

平野 好史 君



9つの教育目標があります

- ①学力の向上
- ②体力の向上
- ③国際人の育成
- ④防災教育の推進
- ⑤希望の実現に向けた進路指導
- ⑥ふるさとと文化の教育の推進
- ⑦人権教育の推進
- ⑧地域教育コミュニティの推進

確かな学力の向上

1、学校教育の現状

新任校長や教頭の研修・学力向上の共同研究
管理職である**校長**が教員同士のチームワークのできる職場作りに努める

2、教師の指導力アップの研修講座と「教育の匠」による公開授業

教員同士が互いに授業を見せ合い、学び合いながら授業の改善をしていく
2月の2日3日に御坊で「教育実践研究会」がありました。そこで今年度の「きのくに教育賞」の表彰式があり、その人達に「教育の匠」の資格が与えられます。

「確かな学力の向上」の為には、従来の授業方法に加え、子供達がお互いに教え合い、学び合う活動や友達と協同して課題を解決しようとする学習方法、などさまざまな指導方法を組み合わせてこども一人ひとりに「分かる・できる」喜びを実感させて達成感を味わわせることが大切です。

分かる喜びは子供の学習意欲につながります。必要に応じて補充的な学習を外部人材（OBなど）の協力を得て、子供の苦手な部分の習得を図る。

3、家庭教育 「早寝・早起き・朝御飯」運動の実施 60%は朝食食べていない

家庭の教育力の低下も言われているなかで、保護者の価値観、ライフスタイルが多様化している。「学校は教育」「家庭はしつけ」と決めつけずにお互いの情報交換が必要である。家庭におけるしつけ、やルールができていない。

子供達は家庭のルールを守ることにより、対人関係の在り方、社会のルールの大切さを学んでいく。
就寝の時間・門限・テレビを見て良い時間・挨拶など生活上のルールと他人に迷惑をかけない・うそをつかない、など道徳上のルールを身につけさせる。

核家族が増えていく中で、子供にどうやって関わったらよいかわからない親がふえている。親に対する支援が必

要。「地域教育コミュニティ」の取り組みで、親同士が学び合ったり、経験者の話を聞いたりする機会をつくる。まず親自身が挨拶を励行し「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「いってらっしゃい」「ありがとう」など毎日大きな声で挨拶をする家庭を作る。

4、教員は自らの力量を高めたい、学びたいと思っているが、いじめや不登校・暴力行為・非行等生徒指導上課題が多く、またモンスターペアレンツと言われる自分の子供だけはこの親にも悩まされている。

和歌山の子供間たちの学力のレベルは全国平均より少し下にあります。秋田や富山・福井県が上位です。又体力も比例して上位にあります。特徴的には、3世代家族が多いといえます。若夫婦が共働きをしているのでおじいちゃん・おばあちゃんが子供のしつけ「宿題をはやくしなさい」「早寝・早起き」など孫の教育に参画している。又・雪国であるため・屋根の雪おろしや雪かきは隣近所との助け合いが必要です。そこに規範意識が生まれてきます。

体力の向上

- ①きのくにチャレンジランキング事業の充実
 - ②運動場の芝生化
- などがあります

子供が外で遊ぶ機会が少ない。塾通い・車で送り迎えやテレビゲームなど身体を動かす機会が少ない。野外で遊んだり、体を動かしたりする楽しさを子供たちに実感させる環境づくりも大切です。

上富田町では総合型スポーツクラブ「シーカ」というのがあります。

少年野球やサッカークラブに入っている子供達にも色々なスポーツに親しまそうということで、登録カードをつくり1日柔道や剣道・バスケ・バレーなどを楽しんでいます。今は鼓笛隊や英会話・ジャズダンスなども教えています。町内800人の小学生のうち、650人の登録があります。

学力や体力の向上についてお話をしてきましたが、私の個人的な考えを申し上げます。教育委員になって最初東京の文部科学省で全国新人教育委員研修会がありました。居並ぶ先生方は校長先生や大学教授など教育経験者ばかりでした。私の様な素人でできるのか心配しました。学力と体力の向上についての意見発表がありました。私は「学校教育とは、子供が社会へ出てからの競争社会に放り出されるのであるから、競争社会に適応できるための、訓練・準備期間である」と言いました。

私の子供の頃はどこの家庭でも4・5人の兄弟がいました。食事の時などはどのオムライスが大きい競争で取り合いっこをしました。小さい頃から家庭内で訓練されました。

「そのためには小学校の低学年まではおおいにスポーツをさせ、体力をつけ 精神力・忍耐力・集中力を養い、挫折を味わい、努力する大切さを教えること、身につけること」

と発表しました。それから勉強をしたら伸びるのではないのでしょうか？今の日本はグローバル社会の中で、競争にもまれています。国家や企業も競い合い、進歩や退歩が決まります。教育は学力だけでなく、精神力の強い人間を育てなければ、日本の将来はないと思います。国家の競争力は、国民の人間力です。その為が一番大切なことは教育ではないのでしょうか？

「未来を拓くひたむきな人間力を育む」ための「めざす人間像は」

- ①郷土を愛し、正義を尊び、優しさと誠実さを備え、志をもってより良い社会に向けて活躍できる人間を育てること。道徳教育を進め日本人の持っている日本人らしさをもう一度考えることが大切ではないのでしょうか？東日本大震災の時の被災者の秩序ある行動は、世界から称賛されました。
- ②生涯にわたり自己実現をめざし、社会の一員として参画する市民性を持った人間を育てる。
- ③人権を尊重し知・徳・体の調和のとれた人間を育てる。

いじめについて

いじめや学級崩壊、子供への虐待など今深刻な問題が増加しています。もちろん、いじめは決して許されないことですが、どの子供にもどの学校においても起こりうるものであることから、県教育委員会では「アンケート調査の実施」や「いじめ対応マニュアル」をつくって対応しているところでもあります。

又、「知事への提言メール」の活用や「教育長相談ポスト」を設置し県全体で幅広く対応しているところです。

昔は3世代の同居や地域の結束力の強かった時代には、祭りや地域行事から規則やルールが生まれ、互いの共通理解がありました。しかし、「核家族化や地域における人間関係の希薄化が進む中」「隣はなにををする人ぞ」という地域における人間関係や連帯感が薄れている。世代間の繋がりが薄れている。

地域の人々が集い、交流する場がなくなっている。地域の人々が学校に集い住民同士の交流が生まれ、そういう場に子供達も参加することにより、地域で培われてきた歴史や文化に触れ、一緒に活動する中で大人達からいろいろ教えてもらい、物事の意味やルールを理解し、生きていく知恵を学んでいく。又、子供達が自分達の住んでいる地域に興味や関心、誇りを持つことにより、住んでいる地域を良くしたいという市民性の教育にも役立てる。

学校や地域における教育力が低下し、伝統的に育まれてきた日本人の精神が失われつつあります。だからこそ、引き継がれてきた伝統と文化を明確にし、道徳教育を通じ、現代の教育に取り入れていく必要があります。

まず「挨拶」のできる人間。茶道や武道における「礼に始まり、礼に終わる」等がありますが、これにより

「相手を尊重する心・謙虚な心・感謝の心」「正義

「正直」「約束を守る」「思いやり」「優しい心」「助け合い」など

日本人が忘れかけている心をもう一度取り戻す必要があります。

この様なよき伝統や文化を、学校や家庭・地域社会が連携して、受け継いでいく社会が教育の基本理念ではないのでしょうか？

そうして「和歌山の教育を元気に」していくことにより「和歌山を元気に」していけたらと、思います。

未熟な私が教育論を申し上げましたが、これからも皆様方のご指導を得て勉強していくつもりです。

ご清聴ありがとうございました。

ロータリーの友 2月号

雑誌担当 上原俊宏

2月は世界理解月間です。田中作治R I会長の巻頭「指定」記事に、超我の奉仕が生み出す希望と平和と題し、「超我の奉仕」に国境は無いと表現しています。奉仕の恩恵は人類全体への奉仕であり、奉仕の結果が争いの原因となる問題に作用すると、様々の機会が生まれるとともに希望が生まれる。その希望から平和が芽生えるのだと記載しています。

あと、ポリオ撲滅に関して世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）の資金調達傾向が47ページに有ります。今までのG8諸国と欧州委員会からの資金割合が着実に減少しつつある中でロータリーを含む資金も少なくなっています。不足している7億ドルの支援調達に目を向けましょう。



◇ 堀会員から頂きました紅梅です ◇

「東風（こち）吹かば にほひおこせよ梅の花

主なしとして 春な忘れそ」

菅原道真が大宰府に左遷される時、道真の愛した庭の梅の花に別れを惜しんで詠んだ歌。後に庭の梅木が道真を追って大宰府に飛んできた、という「飛梅伝説」がある。